

## 熱学・統計力学要論(田中担当クラス) 宿題 10

提出期限: 8/3 の授業時に集める.

学籍番号: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_

1.  $\Gamma$  関数を  $\Gamma(x) = \int_0^\infty t^{x-1} e^{-t} dt$  ( $x > 0$ ) で定義する. 以下の関係を示せ.

$$\Gamma(1) = 1, \quad \Gamma(1/2) = \sqrt{\pi}, \quad \Gamma(x+1) = x\Gamma(x), \quad \Gamma(n+1) = n! \quad (n = \text{正の整数}).$$

2. 半径  $a$  の  $n$  次元球の体積  $V_n(a) = \int_{x_1^2+x_2^2+\dots+x_n^2 \leq a^2} dx_1 dx_2 \cdots dx_n$  を求めよう.

(a) 変数変換により,  $V_n(a) = C_n a^n$  と書けることを示せ. ここで,  $C_n \equiv V_n(1)$  は定数である.

(b) 半径  $a$  の  $n$  次元球の表面積は,

$$\lim_{\delta a \rightarrow 0} \frac{V_n(a + \delta a) - V_n(a)}{\delta a} = \frac{d}{da} V_n(a) = n C_n a^{n-1}$$

である. 積分  $I_n \equiv \int dx_1 dx_2 \cdots dx_n e^{-(x_1^2+x_2^2+\dots+x_n^2)}$  (積分範囲は全空間) を ( $n$  次元) 球座標で評価すると  $I_n = C_n \Gamma((n/2) + 1)$  となることを示せ.

(c)  $I_n$  を ( $n$  次元) デカルト座標で評価せよ. (ヒント: ガウス積分の公式を用いる.)

(d) 上の結果から,  $C_n$  を決定せよ.

3. スターリングの公式,  $\log n! = n \log n - n + o(n)$  ( $n \gg 1$ ) を導出しよう.

(a) 次の不等式が成り立つことを示せ.

$$\int_{k-1}^k \log x dx \leq \log k \leq \int_k^{k+1} \log x dx, \quad k \geq 1$$

(b) この不等式の  $k = 1$  から  $k = n$  までの和を考え, 積分を実行することで, スターリングの公式を導け.

解答